

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 社会福祉法人 静岡厚生会 ）  
 事業所名 （ 特別養護老人ホーム厚生苑 新緑の郷 ）  
 サービス種別 （ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステムM2 (FBR-N135 PS02 M2)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 3 月 31 日	4 セット	平成 31 年 3 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>(事業概要)            利用者を安全に、又本人に知られる事なく見守る事が可能なシステムを導入する事で、ベッドからの転倒転落事故防止を行う事を目標と致します。また、誰もが簡単に操作/セッティング可能なシステムを導入する事で機器を必要な方に対して、誰もがきちんと使える事で、機器設定の手間を省き、また不必要な見回りを減らし介護労力の削減を目指すもの。</p> <p>(導入スケジュール)            平成 30 年 10 月 機器設置事前調査            平成 31 年 3 月 機器導入            平成 31 年 3 月 機器使用方法説明会実施            以降 各年度毎に使用状況報告            適時 機器使用方法のフォローアップ説明会を実施</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>就寝時に全自動で任意の動作を見守りすることで、タイミングの良い訪室が可能となり見守られる側の心身の負担を軽減することができる。また、カメラや画像データを取り扱わないシステムであり、見張られている感が無く機器導入前と同様の自然な状態で過ごすことができる。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の転倒、転落事故発生件数の減少に伴う介護の質の向上</li> <li>・良質な睡眠の確保やプライバシーの確保に伴う利用者の生活の向上</li> <li>・介護職員の見守り業務量及び精神的、身体的ストレスの軽減に伴う職員定着率の向上</li> </ul>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の転倒・転落による受傷を防ぐことによる健康寿命の延伸</li> <li>・日中夜間の生活リズムを把握することによる、睡眠の質の向上</li> <li>・介護職員の見守り業務負担軽減に伴う精神的、身体的ストレスの軽減</li> <li>・よりよいタイミングで介護サービスの提供が可能となることによる、介護の質の向上</li> </ul>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 わらしな福祉会 )  
 事業所名 (特別養護老人ホームりんどう )  
 サービス種別 (介護老人福祉施設 )

見守り機器の製品名			
FB-033 L6 30V M-2 フランスパット 見守りシステム			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 1 月 31 日	18 台	平成 31 年 1 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>平成 30 年 12 月中に発注 ～ 平成 31 年 1 月末までに納品            納品と同時に職員への操作研修実施</p>			
<p>【利用者のプライバシーへの配慮】</p> <p>介護理念である「尊厳の保持」「自立支援」及び 法人理念である「ありがとう おかげさま」に基づき、利用者様のプライバシー保護に努める</p>			
<p>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間）</p> <p>①利用者に対する転倒転落事故の削減 /            ②誤報が少ないセンサーを採用する事で無駄な動作を減少させ介護労力の削減を図る。</p>			
<p>【見守り機器導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全自動での利用者見守りが可能になり利用者の安心した生活の確保ができる</li> <li>●利用者の安全確保ができる</li> <li>●介護職員の労力軽減ができる</li> </ul>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所の下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人 わらしな福社会 )

事業所名 (ショートステイ りんどう )

サービス種別 (短期入所生活介護 )

見守り機器の製品名			
FB-033 L6 30V M-2 フランスハット 見守りシステム			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 1 月 31 日	1 台	平成 31 年 1 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>平成 30 年 12 月中に発注 ～ 平成 31 年 1 月末までに納品</p> <p>納品と同時に職員への操作研修実施</p>			
<p>【利用者のプライバシーへの配慮】</p> <p>介護理念である「尊厳の保持」「自立支援」及び 法人理念である「ありがとう おかげさま」に基づき、利用者様のプライバシー保護に努める</p>			
<p>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間）</p> <p>①利用者に対する転倒転落事故の削減</p> <p>②誤報が少ないセンサーを採用する事で無駄な動作を減少させ介護労力の削減を図る。</p>			
<p>【見守り機器導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全自動での利用者見守りが可能になり利用者の安心した生活の確保ができる</li> <li>●利用者の安全確保ができる</li> <li>●介護職員の労力軽減ができる</li> </ul>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 ( 社会福祉法人 清雲会 )  
 事業所名 ( 介護老人福祉施設巴の園 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器の製品名			
フランスベッド 低床3モーターベッド FBR-N135 PS02/SU /M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31年1月20日	6台	31年1月20日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>利用者を安全に、又本人に知られる事なく見守る事が可能なシステムを導入する事で、ベッドからの転倒転落事故防止を行う事を目標と致します。また、誰もが簡単に操作/セッティング可能なシステムを導入する事で機器を必要な方に対して、誰もがきちんと使えることで機器設定の手間を省き、また不必要な見回りを減らし、介護労力の削減を目指します。</p> <p>平成30年11月 機器設置事前調査          平成31年1月 機器導入          平成31年1月 機器使用方法説明会実施          以降、各年度ごとに使用状況報告。適時、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>ベッドに内蔵されたセンサーであるため、本人に知られる事なく見守る事ができる。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b></p> <p>①利用者の転倒転落事故の削減          ②居室の巡回回数の削減（介護員等の業務量削減）          ③利用者の状態分析（蓄積されたデータを活用し、行動パターンを分析する）</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>①利用者に対する転倒転落事故の削減          ②従来型のマットセンサーを活用し続ける介護労力を削減          ③誤報が少ないセンサーを採用する事で無駄な駆けつけを減少させ介護労力の削減を図る</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 ( 社会福祉法人 清雲会)

事業所名 ( 巴の園短期入所生活介護事業所)

サービス種別 ( 短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 低床3モーターベッド FBR-N135 PS02/SU /M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31年1月20日	1台	31年1月20日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>利用者を安全に、又本人に知られる事なく見守る事が可能なシステムを導入する事で、ベッドからの転倒転落事故防止を行う事を目標と致します。また、誰もが簡単に操作/セッティング可能なシステムを導入する事で機器を必要な方に対して、誰もがきちんと使えることで機器設定の手間を省き、また不必要な見回りを減らし、介護労力の削減を目指します。</p> <p>平成30年11月 機器設置事前調査 平成31年1月 機器導入 平成31年1月 機器使用方法説明会実施 以降、各年度ごとに使用状況報告。適時、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>ベッドに内蔵されたセンサーであるため、本人に知られる事なく見守る事ができる。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b></p> <p>①利用者の転倒転落事故の削減 ②居室の巡回回数の削減（介護員等の業務量削減） ③利用者の状態分析（蓄積されたデータを活用し、行動パターンを分析する）</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>①利用者に対する転倒転落事故の削減 ②従来型のマットセンサーを活用し続ける介護労力を削減 ③誤報が少ないセンサーを採用する事で無駄な駆けつけを減少させ介護労力の削減を図る</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 ( 社会福祉法人 清雲会 )  
 事業所名 ( 巴の園和郷短期入所生活介護事業所 )  
 サービス種別 ( 短期入所生活介護 )

見守り機器の製品名			
フランスベッド、低床3モーターベッド、FBR-N135 PS02/SU /M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31年1月20日	1台	31年1月20日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>利用者を安全に、又本人に知られる事なく見守る事が可能なシステムを導入する事で、ベッドからの転倒転落事故防止を行う事を目標と致します。また、誰もが簡単に操作/セッティング可能なシステムを導入する事で機器を必要な方に対して、誰もがきちんと使えることで機器設定の手間を省き、また不必要な見回りを減らし、介護労力の削減を目指します。</p> <p>平成30年11月 機器設置事前調査          平成31年1月 機器導入          平成31年1月 機器使用方法説明会実施          以降、各年度ごとに使用状況報告。適時、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>ベッドに内蔵されたセンサーであるため、本人に知られる事なく見守る事ができる。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b></p> <p>①利用者の転倒転落事故の削減          ②居室の巡回回数の削減（介護員等の業務量削減）          ③利用者の状態分析（蓄積されたデータを活用し、行動パターンを分析する）</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>①利用者に対する転倒転落事故の削減          ②従来型のマットセンサーを活用し続ける介護労力を削減          ③誤報が少ないセンサーを採用する事で無駄な駆けつけを減少させ介護労力の削減を図る</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 ( 社会福祉法人 清雲会 )  
 事業所名 ( 介護老人福祉施設巴の園和郷 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器の製品名			
フランスベッド 低床 3 モーターベッド FBR-N135/PS02/SU /M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31 年 1 月 20 日	7 台	31 年 1 月 20 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>利用者を安全に、又本人に知られる事なく見守る事が可能なシステムを導入する事で、ベッドからの転倒転落事故防止を行う事を目標と致します。また、誰もが簡単に操作/セッティング可能なシステムを導入する事で機器を必要な方に対して、誰もがきちんと使えることで機器設定の手間を省き、また不必要な見回りを減らし、介護労力の削減を目指します。</p> <p>平成 30 年 11 月 機器設置事前調査          平成 31 年 1 月 機器導入          平成 31 年 1 月 機器使用方法説明会実施          以降、各年度ごとに使用状況報告。適時、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施。</p>			
<p>【利用者のプライバシーへの配慮】</p> <p>ベッドに内蔵されたセンサーであるため、本人に知られる事なく見守る事ができる。</p>			
<p>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間）</p> <p>①利用者の転倒転落事故の削減          ②居室の巡回回数の削減（介護員等の業務量削減）          ③利用者の状態分析（蓄積されたデータを活用し、行動パターンを分析する）</p>			
<p>【見守り機器導入により期待される効果等】</p> <p>①利用者に対する転倒転落事故の削減          ②従来型のマットセンサーを活用し続ける介護労力を削減          ③誤報が少ないセンサーを採用する事で無駄な駆けつけを減少させ介護労力の削減を図る</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 社会福祉法人伊豆社会福祉事業会  
 事業所名 特別養護老人ホーム玉樹園  
 サービス種別 特別養護老人ホーム

見守り機器の製品名			
低床 3 モーターベット FBD-N136X1/M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 1 月 25 日	特養分 6 台	平成 31 年 1 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>介護職員が利用者の状態に合わせ設定できる為利用者の自尊心や自立心を損なうことなく、安全を確保しつつ活動、参加の支援ができる。利用者の状態に合わせて設定できることからアセスメントに基づく意識対応、対症的視点から予防的視点への意識醸成を図る。</p> <p>導入スケジュール：H30.12 機器設置事前調査・H31.1 機器導入・仕様説明</p>			
<p>【利用者のプライバシーへの配慮】</p> <p>利用者自身に知られることなく見守りが可能となり、状況確認の巡回の回数を低減することで利用者のプライバシーを守り且つ利用者主体の生活の一助とする。</p>			
<p>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間）</p> <p>状況確認の巡回の減により、介護職員の精神的負担を軽減し、業務を離れた休憩時間の担保に資することができる。</p>			
<p>【見守り機器導入により期待される効果等】</p> <p>ベット上からの転落、起上り時の転倒等のリスクを事前に把握して、事故の減と誤報対応の削減が期待され又利用者に合った活動の支援を適時に提供することができ信頼関係の維持向上が期待される</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 社会福祉法人伊豆社会福祉事業会

事業所名 特別養護老人ホーム玉澗園2

サービス種別 地域密着型会議老人福祉施設

見守り機器の製品名			
低床3モーターベット FBD-N136X1 M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成31年1月25日	2台	平成31年1月31日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>介護職員が利用者の状態に合わせ設定できる為利用者の自尊心や自立心を損なうことなく、安全を確保しつつ活動、参加の支援ができる。利用者の状態に合わせて設定できることからアセスメントに基づく意識対応、対症的視点から予防的視点への意識醸成を図る。</p> <p>導入スケジュール：H30.12 機器設置事前調査・H31.1 機器導入・仕様説明</p>			
<p>【利用者のプライバシーへの配慮】</p> <p>利用者自身に知られることなく見守りが可能となり、状況確認の巡回の回数を低減することで利用者のプライバシーを守り且つ利用者主体の生活の一助とする。</p>			
<p>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</p> <p>状況確認の巡回の遡減により、介護職員の精神的負担を軽減し、業務を離れた休憩時間の担保に資することができる。</p>			
<p>【見守り機器導入により期待される効果等】</p> <p>ベット上からの転落、起上り時の転倒等のリスクを事前に把握して、事故の遡減と誤報対応の削減が期待され又利用者にあった活動の支援を適時に提供することができ信頼関係の維持向上が期待される</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所を下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 社会福祉法人伊豆社会福祉事業会

事業所名 ショートステイたまざわ

サービス種別 短期入所生活介護

見守り機器の製品名			
低床 3 モーターベット FBD-N136X1 M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 1 月 25 日	1 台	平成 31 年 1 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>介護職員が利用者の状態に合わせ設定できる為利用者の自尊心や自立心を損なうことなく、安全を確保しつつ活動、参加の支援ができる。利用者の状態に合わせて設定できることからアセスメントに基づく意識対応、対症的視点から予防的視点への意識醸成を図る。</p> <p>導入スケジュール：H30.12 機器設置事前調査・H31.1 機器導入・仕様説明</p>			
<p>【利用者のプライバシーへの配慮】</p> <p>利用者自身に知られることなく見守りが可能となり、状況確認の巡回の回数を低減することで利用者のプライバシーを守り且つ利用者主体の生活の一助とする。</p>			
<p>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間）</p> <p>状況確認の巡回の通減により、介護職員の精神的負担を軽減し、業務を離れた休憩時間の担保に資することができる。</p>			
<p>【見守り機器導入により期待される効果等】</p> <p>ベット上からの転落、起上り時の転倒等のリスクを事前に把握して、事故の通減と誤報対応の削減が期待され又利用者に合った活動の支援を適時に提供することができ信頼関係の維持向上が期待される</p>			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 ( 清 水 福 祉 会 )  
 事業所名 (特別養護老人ホーム柏尾の里)  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器の製品名			
フランスベット 見守りケアシステム内臓 低床3モータベッド			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31年2月20日	5台	31年 2月20日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>平成31年2月初旬 機器設置事前調査</p> <p>平成31年2月20日（予定） 機器導入・機器使用方法説明会の実施</p> <p>以後、各年度毎に使用状況報告 適時機械使用方法のフォローアップ説明会の実施</p>			
<p>【利用者のプライバシーへの配慮】</p> <p>利用者を安全に、また本人に知られることなく見守りができるシステムを導入し、それにより、転倒転落のリスクを軽減する。</p>			
<p>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</p> <p>転倒・転落事故の減少（3割減少）</p> <p>センサー誤報による駆けつけを減少 3割減少</p>			
<p>【見守り機器導入により期待される効果等】</p> <p>利用者の、転倒転落事故の減少</p> <p>誤報が少ないセンサーを採用することで、無駄な駆けつけを減少させ介護労力の軽減を図る</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名（ 社会福祉法人葉月会 ）

事業所名（ 亀寿の郷 ）

サービス種別（ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム内蔵 低床3モーターベット FB-033・L-6・30V M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31年2月1日	5台	31年2月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p><b>【事業概要】</b></p> <p>ご利用者様本人や他者に知られることなく遠隔で見守り把握することができる見守りセンサー内蔵のベットを導入し、プライバシーも保護しながら、ベットからの転倒転落事故を予防しご利用者様の安全確保を目指します。また、見守りセンサー内蔵のベットは介護職員が安易に操作でき、誤報が少ないと考えられる製品を選定し、介護業務の効率化を図り介護職員の精神的、身体的負担軽減も目指します。</p> <p><b>【導入スケジュール】</b></p> <p>平成30年12月；機器設置事前調査、</p> <p>平成31年2月；機器導入、</p> <p>平成31年2月；機器使用方法説明会実施</p> <p>以降、各年度ごとに使用状況報告、</p> <p>適宜、機器使用方法のフォローアップ説明会を実施</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>見守りセンサー内蔵型ベットにて、視覚的にもご本人や他ご利用者様に知られることなく見守り機能を有効に活用できる製品を購入、使用したいと考えています。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b></p> <p>1、介護職員の介護負担の軽減。介護職員離床防止。</p> <p>操作も簡単で誤報が少ないと考えられる見守りセンサー内蔵型ベットを導入し、介護業務の効率化を図ります。また的確に転倒転落につながる動作を遠隔把握し、不要な見回りを減らし介護職員の精神的、身体的負担の軽減を目指します。</p> <p>2、転倒、転落事故の削減</p> <p>ご利用者様のベット上からの転倒転落事故をなくし、骨折やケガなくお元気に過ごしていただける生活を目指します。</p>			



## 見守り機器導入計画書

法人名 社会福祉法人 桂  
 事業所名 特別養護老人ホーム カリタス 21  
 サービス種別 介護老人福祉施設

見守り機器の製品名			
見守りケアシステムM2 (FB-033 L-6・30V M2)			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 2 月 1 日	8 台	平成 31 年 2 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>◎製品の特徴          ベッドに内蔵された4つのセンサーにより、ベッド上の利用者の動きを4段階(動き出し、起き上がり、端座位、離床)に分け、見守りが必要な利用者の動きに合わせて、任意の状態を自動で感知しナースコールに発報可能なシステム。</p> <p>◎スケジュール          平成 30 年 11 月 機器設置事前調査          平成 31 年 2 月 機器導入・機器使用方法説明会          以後、適時機器使用方法のフォローアップを業者により開催。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>利用者様を安全に、またご本人に知られることなく見守ることが可能で、迅速な対応によりベッドからの転倒転落事故の防止を行えます。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後3年間)</b></p> <p>この見守りケアシステムを導入することで、認知症のある利用者様や歩行不安定な利用者様への対応の迅速化、ベッドからの転倒転落防止、また介護従事者の時間短縮、精神的・肉体的ストレスの軽減ができ円滑な見守りが可能になる。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>現在使用している接触型マットセンサーと異なり、</p> <p>①セッティングの手間がいらぬ ②転倒防止のために配線を見えなくする手間が必要ない          ③故障時にはエラー通知されるため、まめな確認が不要 ④誤報が少なく、職員がセンサーに振り回されることが少ない などの効果が期待され、介護職員の労力が大幅に軽減可能と思われる。</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入計画書

法人名 社会福祉法人 桂  
 事業所名 特別養護老人ホーム カリタス21  
 (地域密着ユニット型)  
 サービス種別 経過型地域密着型  
 介護老人福祉施設入居者生活介護

見守り機器の製品名			
見守りケアシステムM2 (FB-033 L-6・30V M2)			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成31年2月1日	3台	平成31年2月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>◎製品の特徴                  ベッドに内蔵された4つのセンサーにより、ベッド上の利用者の動きを4段階(動き出し、起き上がり、端座位、離床)に分け、見守りが必要な利用者の動きに合わせて、任意の状態を自動で感知しナースコールに発報可能なシステム。</p> <p>◎スケジュール                  平成30年11月 機器設置事前調査                  平成31年2月 機器導入・機器使用方法説明会                  以後、適時機器使用方法のフォローアップを業者により開催</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>利用者様を安全に、またご本人に知られることなく見守ることが可能で、迅速な対応によりベッドからの転倒転落事故の防止を行えます。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後3年間)</b></p> <p>この見守りケアシステムを導入することで、認知症のある利用者様や歩行不安定な利用者様への対応の迅速化、ベッドからの転倒転落防止、また介護従事者の時間短縮、精神的・肉体的ストレスの軽減ができ円滑な見守りが可能になる。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>現在使用している接触型マットセンサーと異なり、                  ①セッティングの手間がいない ②転倒防止のために配線を見えなくする手間が必要ない                  ③故障時にはエラー通知されるため、まめな確認が不要 ④誤報が少なく、職員がセンサーに振り回されることが少ない などの効果が期待され、介護職員の労力が大幅に軽減可能と思われる。</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入計画書

法人名 社会福祉法人 桂  
 事業所名 ショートステイ カリタス 2 1  
 サービス種別 (介護予防) 短期入所生活介護

見守り機器の製品名			
見守りケアシステムM2 (FB-033 L-6・30V M2)			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 2 月 1 日	1 台	平成 31 年 2 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>◎製品の特徴          ベッドに内蔵された4つのセンサーにより、ベッド上の利用者の動きを4段階(動き出し、起き上がり、端座位、離床)に分け、見守りが必要な利用者の動きに合わせて、任意の状態を自動で感知しナースコールに発報可能なシステム。</p> <p>◎スケジュール          平成 30 年 11 月 機器設置事前調査          平成 31 年 2 月 機器導入・機器使用方法説明会          以後、適時機器使用方法のフォローアップを業者により開催</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>利用者様を安全に、またご本人に知られることなく見守ることが可能で、迅速な対応によりベッドからの転倒転落事故の防止を行えます。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後3年間)</b></p> <p>この見守りケアシステムを導入することで、認知症のある利用者様や歩行不安定な利用者様への対応の迅速化、ベッドからの転倒転落防止、また介護従事者の時間短縮、精神的・肉体的ストレスの軽減ができ円滑な見守りが可能になる。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>現在使用している接触型マットセンサーと異なり、</p> <p>①セッティングの手間がいらぬ ②転倒防止のために配線を見えなくする手間が必要ない          ③故障時にはエラー通知されるため、まめな確認が不要 ④誤報が少なく、職員がセンサーに振り回されることが少ない などの効果が期待され、介護職員の労力が大幅に軽減可能と思われる。</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 社会福祉法人 炉暖会 ）  
 事業所名 （ 特別養護老人ホーム炉暖の郷 ）  
 サービス種別 （ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31年 1月31日	10セット	31年 1月31日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>見守り機器導入により、職員の負担軽減と事故予防に努める          平成30年12月導入計画⇒平成30年12月静岡県見守り機器促進事業補助金申請          補助金支給決定後、導入予定</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・守秘義務を順守した対応をしていく</li> <li>・センサー内蔵ベッド使用は事業所内のみの情報共有とする</li> </ul>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安全性を高め、転落事故を軽減する</li> <li>・夜間職員の精神的・身体的負担の軽減につなげる</li> </ul>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住環境も良くなり、センサーが内蔵されているので、安楽に臥床できる</li> <li>・ベッドからの転落事故も早めの受信で防ぐことも多くなる</li> <li>・誤作動も少なくなり、職員の精神的・身体的負担も軽減できる</li> </ul>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所の下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名（ 社会福祉法人 炬暖会 ）

事業所名 （短期入所生活介護 炬暖の郷）

サービス種別（短期入所生活介護 ）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31年 1月31日	1セット	31年 1月31日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>見守り機器導入により、職員の負担軽減と事故予防に努める</p> <p>平成30年12月導入計画⇒平成30年12月静岡県見守り機器促進事業補助金申請 補助金支給決定後、導入予定</p>			
<p>【利用者のプライバシーへの配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 守秘義務を順守した対応をしていく</li> <li>・ センサー内蔵ベッド使用は事業所内のみの情報共有とする</li> </ul>			
<p>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の安全性を高め、転落事故を軽減する</li> <li>・ 夜間職員の精神的・身体的負担の軽減につなげる</li> </ul>			
<p>【見守り機器導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居住環境も良くなり、センサーが内蔵されているので、安楽に臥床できる</li> <li>・ ベッドからの転落事故も早めの受信で防ぐことも多くなる</li> <li>・ 誤作動も少なくなり、職員の精神的・身体的負担も軽減できる</li> </ul>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人日本民生福祉協会)

事業所名 (みどりが丘ホーム)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 1 月 31 日	8	平成 31 年 1 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b>            (事業概要)            見守りケアシステム M2 導入により、利用者様の危険行動を事前に把握することができるため、事故防止につながる。センサーの誤報が少ないため、職員の心身の負担を減らし、職員同士の連携が取れ、業務効率改善が期待できる。</p> <p>(導入スケジュール)            平成 31 年 1 月中旬機器設置事前調査、平成 31 年 1 月 31 日導入予定、以降使用方法説明会、随時フォローアップ実施。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b>            利用者様への接触や拘束がなく、身体的・精神的苦痛を与えずに使用できる。            センサーにより取得した個人情報を厳重に管理する。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後 3 年間)</b>            転倒転落等の事故を防ぎ、利用者様が心地よく生活できる。            効率的な見守りが可能となるため、職員の身体的・精神的負担が軽減できる。            職員同士の情報共有や多職種との連携が取りやすく、ケアの質を高める。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b>            利用者様の動きが具体化することにより個別ケアの充実が図られる。            転倒転落等の事故減少。自動で確実なセンサー感知により、事故を未然に防ぐことができる。            職員の業務負担を軽減し、満足度向上と業務改善が期待される。</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人日本民生福祉協会)  
 事業所名 (みどりが丘ホーム )  
 サービス種別 (短期入所生活介護 )

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 1 月 31 日	1	平成 31 年 1 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b>            (事業概要)            見守りケアシステム M2 導入により、利用者様の危険行動を事前に把握することができるため、事故防止につながる。センサーの誤報が少ないため、職員の心身の負担を減らし、職員同士の連携が取れ、業務効率改善が期待できる。</p> <p>(導入スケジュール)            平成 31 年 1 月中旬機器設置事前調査、平成 31 年 1 月 31 日導入予定、以降使用方法説明会、随時フォローアップ実施。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b>            利用者様への接触や拘束がなく、身体的・精神的苦痛を与えずに使用できる。            センサーにより取得した個人情報を厳重に管理する。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後 3 年間)</b>            転倒転落等の事故を防ぎ、利用者様が心地よく生活できる。            効率的な見守りが可能となるため、職員の身体的・精神的負担が軽減できる。            職員同士の情報共有や多職種との連携が取りやすく、ケアの質を高める。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b>            利用者様の動きが具体化することにより個別ケアの充実が図られる。            転倒転落等の事故減少。自動で確実なセンサー感知により、事故を未然に防ぐことができる。            職員の業務負担を軽減し、満足度向上と業務改善が期待される。</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名（株式会社エーアイエム）

事業所名 えいむの丘（グループホーム）

サービス種別（認知症対応型共同生活介護）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FB-033 L-6 30V M2)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31年 3月 31日	2台	31年 3月 31日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b>            利用者を安全に見守り、迅速に対応することが可能なシステムを導入する事で、ベッドからの転倒転落、事故防止を行うことを目標とする。また、誰もが簡単に操作、設定できることで、設定をする時間の削減も見込め、介護労力の削減につなげる。            平成30年9月に機器見積書をいただき、設置事前調査を行う。平成31年3月に購入し、導入予定であり、使用方法説明会を実施する。以降、年度ごとに使用状況の報告を提出する。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b>            ベッドに内蔵することで監視されているという感覚を利用者様に与えないようにする。また、過剰な訪室による巡視の回数を減らし、夜間の睡眠を妨げない。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 利用者様の転倒事故をなくす</li> <li>② 異常の早期発見</li> <li>③ 介護職員の負担軽減</li> </ul>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 利用者の転倒や転落等の事故防止</li> <li>② 簡単な設置、使いかたによる、介護労力の削減</li> <li>③ 誤報による無駄なかけつけの減少による看護、介護業務の改善</li> </ul>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名（株式会社エーアイエム）

事業所名 えいむの丘（看護小規模多機能型居宅介護）

サービス種別（看護小規模多機能型居宅介護）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FB-033 L-6 30V M2)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31年 3月 31日	2台	31年 3月 31日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>利用者を安全に見守り、迅速に対応することが可能なシステムを導入する事で、ベッドからの転倒転落、事故防止を行うことを目標とする。また、誰もが簡単に操作、設定できることで、設定をする時間の削減も見込め、介護労力の削減につながる。</p> <p>平成30年9月に機器見積書をいただき、設置事前調査を行う。平成31年3月に購入し、導入予定であり、使用方法説明会を実施する。以降、年度ごとに使用状況の報告を提出する。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>ベッドに内蔵することで監視されているという感覚を利用者様に与えないようにする。また、過剰な訪室による巡視の回数を減らし、夜間の睡眠を妨げない。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b></p> <p>① 利用者様の転倒事故をなくす ② 異常の早期発見 ③ 介護職員の負担軽減</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>① 利用者の転倒や転落等の事故防止 ② 簡単な設置、使いかたによる、介護労力の削減 ③ 誤報による無駄なかけつけの減少による看護、介護業務の改善</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 ( 社会福祉法人斉慎会 )  
 事業所名 ( 特別養護老人ホーム西貝の郷 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド株式会社「眠りSCAN」NN-1310			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019年 2月 1日	8台	2019年 2月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>入居者のベッドのマットレスの下に「眠りSCAN」本体を設置し、無線LANによりデータ通信を行いリアルタイムにパソコンで入居者の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）、呼吸数をモニターに表示する。</p>			
<p>【利用者のプライバシーへの配慮】</p> <p>○モニターは、寮母室内に設置する。</p> <p>○個人情報の管理を適切に行う。</p>			
<p>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</p> <p>○居室内での入居者の状態が分かることで、職員の身体的・精神的負担が軽減され、介護職員の離職防止や職場への定着に資する。</p>			
<p>【見守り機器導入により期待される効果等】</p> <p>○居室内での入居者の状態が分かることで、職員の身体的・精神的負担が軽減され、介護職員の離職者数が減り、定着率が上がると期待できる。</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人島田福祉の杜)

事業所名 (特別養護老人ホームあすか)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマントベッド(株)「眠りスキャン」			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成31年2月28日	7台	平成31年2月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>特別養護老人ホーム入所中(平均介護度4)で認知症状や身体状態等が不安定な入所者に対して、巡回巡視を要せずに必要な情報を確認でき適格な介護看護サービスの提供が期待できる本システム導入を実施する。平成30年12月から介護職員、看護職員、生活相談員等多職種間で活用方法を検討し、平成31年2月に導入する。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>本システム導入にあたっては利用者、及びご家族に導入目的や機能について事前に説明するとともにバイタル等のデータの取扱いについては内規をさだめ情報の流出等に充分注意する。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後3年間)</b></p> <p>①利用者の在室の有無、離床、起床、バイタル値(体温脈拍心拍等)をタブレット等で確認することにより業務の省力化を図り効率的な職員配置を実現する。</p> <p>②起床離床の有無を早期に確認することにより、利用者単独の転倒事故を大幅に減少させる。</p> <p>③介護職員と看護職員の情報共有を深め多職種連携を高める。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>①日中夜間を問わず介護医療ケアに必要な情報を確認できることにより、転倒等の事故リスクを軽減するとともに医療機関等との連携に役立つ。</p> <p>②介護業務、看護業務における巡回巡視に係る業務量を削減できるとともに複数の職員が同じ情報を共有することにより心理的ストレスを軽減できる</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 ( 社会福祉法人 鳳会 )  
 事業所名 ( 特別養護老人ホームふじトピア )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器の製品名			
テクノスジャパン 離床センサー コールマット・徘徊コールⅢ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成30年12月25日	7台	平成30年12月25日	年 月 日から 年 月 日まで
<b>【事業概要及び導入スケジュール】</b> コールマット・徘徊コールⅢ7台を平成30年12月に導入			
<b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b> 人の見守りではなく、マットを踏むことによるコールセンサーである為、 プライバシーを保つことができる。			
<b>【見守り機器導入により達成すべき目標】</b> （導入後3年間） 転倒回数：導入前3年間と比較して5%減 介護職員離職率：導入前3年間と比較して5%減			
<b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b> 入所者の転倒回数削減と介護職員離職防止			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名           （       社会福祉法人 風会       ）  
 事業所名       （ ふじトピア短期入所生活介護事業所 ）  
 サービス種別（       短期入所生活介護       ）

見守り機器の製品名			
テクノスジャパン 離床センサー コールマット・徘徊コールⅢ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 12 月 25 日	1 台	平成 30 年 12 月 25 日	年   月   日から 年   月   日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>コールマット・徘徊コールⅢ1 台を平成 30 年 12 月に導入</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>人の見守りではなく、マットを踏むことによるコールセンサーである為、 プライバシーを保つことができる。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後 3 年間）</b></p> <p>転倒回数：導入前 3 年間と比較して 5 % 減</p> <p>介護職員離職率：導入前 3 年間と比較して 5 % 減</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>入所者の転倒回数削減と介護職員離職防止</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 社会福祉法人天竜厚生会 ）

事業所名 （ 登呂の家 ）

サービス種別 （ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-N132 W2 M2)			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成31年2月15日	2台	平成31年2月15日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>利用者を安全に、又本人に知られることなく見守ることが可能なシステムを導入することで、ベッドからの転倒転落事故防止を行います。また、誰もが簡単に操作/セッティング可能なシステムを導入する事で機器を必要な方に対して、誰もがきちんと使えることで、機器設定の手間を省き、また不必要な見回りを減らし介護労力の削減を目指します。</p> <p>平成30年2月 機器導入及び機器使用方法説明会実施。 年度毎に県へ使用状況報告 適宜機器使用方法のフォローアップ説明会を実施</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>従来のセンサー類ではご利用者が端座位になっているだけで反応してしまったり、逆にそういうリズムの方であるがゆえに様子を見ている間に転倒してしまったりということがあるため、定期的な訪室する必要がありました。本機器を導入することにより、ご利用者にとって不要な際に訪室することを防げるため、よりプライバシーに配慮できます。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b></p> <p>従来のセンサー類と異なり、ご利用者のリズムを把握し特性に応じた見守りが可能となるため、センサーの反応がなく、いつの間にか転倒、転落していたことを防ぎます。</p> <p>また、特に新規入所のご利用者に使用することにより、入所後のアセスメントに活かし、転倒・転落を防ぎます。</p> <p>上記により、転倒・転落のゼロと不必要な見回りを減らし、介護労力を軽減します。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>①利用者に対する転倒転落事故の削減 ②ご利用者のリズムを把握し、ご利用者のリズムを尊重した上で転倒・転落を防ぐ ③誤報が少ないセンサーを採用することで無駄な駆け付けを減少させ介護労力の削減を図る</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所の下線を引くこと。

## 見守り機器導入計画書

法人名 ( 社会福祉法人慶成会 )  
 事業所名 ( 特別養護老人ホームグリーンヒルズ東山 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 眠り SCAN NN-1310			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
31年1月15日	14台 /	31年1月15日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>入居者の生活習慣の改善、ケアプランの改善、職員の業務負担軽減のため、特別養護老人ホーム(140床)への見守り支援システム「眠りSCAN」14台の導入</p> <p>平成31年1月初旬に導入前説明会・勉強会開催</p> <p>平成31年1月15日導入</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>非接触型のため、睡眠・覚醒や在床・離床のほか、呼吸数等の情報が手元のタブレット等端末機で確認できるので、ご利用者に安心感を与えられる。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後3年間)</b></p> <p>平成30年度 機器の使用方法等の習得と見守りセンサーとしての機能を全職員が使いこなせるよう指導し、ご利用者の安全な生活(事故削減等)の向上を図る。</p> <p>平成31年度 さらなる機能(睡眠リズム・バイタル情報)の有効活用を行い、ご利用者へのサービス向上へとつなげる。</p> <p>平成32年度 設置台数を増やし、職員業務効率化とご利用者へのサービス向上へとつなげる。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の安全な生活環境の向上 (転倒事故削減、エスケープ事故削減、タイムリーな所在・状況確認、全身状態のタイムリー把握)</li> <li>・職員の動きやすい環境づくり (職員見回り回数の減。優先順位を付けての業務可能。先手の介入可能)</li> </ul>			

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 ( 社会福祉法人 井友会 )  
 事業所名 ( 特別養護老人ホームやすらぎの里 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器の製品名			
超音波・赤外線コール・ポケット			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成30年12月25日	2台	平成30年12月25日	年 月 日から 年 月 日まで
<b>【事業概要及び導入スケジュール】</b> <b>事業概要</b> 「超音波・赤外線コール・ポケット」の導入により、見守り業務の補助、効率化を図り、介護職員の業務負担の軽減を図ります。また、利用者さんの安全を確保することで、事故防止の取り組みを行っていきます。 <b>導入スケジュール</b> 当該助成決定後、速やかに導入する予定。			
<b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b> 利用者及び家族に対し、見守り機器の導入、システム等について説明を行い、同意を得たうえで利用を開始します。※使用目的・安全性・効果等についても説明			
<b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b> 見守り業務の効率化を図り、介護職員の業務負担を軽減すること。また、効率的かつ効果的な見守り業務を徹底し、転倒・転落事故に関する事故発件数を導入前よりも減少させる。			
<b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドからの転落や転倒のリスク等の軽減</li> <li>・介護職員の見守り業務の身体的・精神的な負担の軽減</li> <li>・人員配置が少なくなる夜間等の時間帯に置いてのリスクの軽減</li> <li>・介護職員の負担軽減による職場環境の改善</li> </ul>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所の下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (有限会社 長者の森 )  
 事業所名 (ショートステイ 長者の森 )  
 サービス種別 (短期入所生活介護 )

見守り機器の製品名			
センサーマット			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 1 月 31 日	1 台	平成 31 年 1 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>短期入所生活介護事業の特性上、ご利用者が日々変わります。介護職員の身体的・心理的負担の軽減およびご利用者様へのリスクマネジメントのためにセンサーマットを導入する。ショートステイ 20 床に対しセンサーマットを 1 台購入し、センサー使用が必要で効果的な方に対し使用していく。その際、安易な利用にならぬようスタッフ間で使用にあたるルールや目的等を事前に個別に伝えると共に、センサーマットを使用した結果どうであったかを振り返り検証する機会を設ける。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>センサー導入の最も重要な目的は、リスクマネジメント向上による事故減少を通じた利用者様の QOL の向上であるため、安易なセンサー利用は避ける。そのためセンサー使用にあたってはサービス担当スタッフと管理者とで検討し慎重に判断することを徹底する。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後 3 年間)</b></p> <p>見守り機器導入により、介護職員の負担軽減、離職防止や職場定着を目指すと共に利用者様へのリスクマネジメントとして活用し事故減少を目指す。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>介護職員の身体的・心理的負担の軽減およびご利用者様へのリスクマネジメント向上による事故の減少が期待される。</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 ( 社会福祉法人長生会 )  
 事業所名 ( 特別養護老人ホーム豊仙苑 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (NN-1310)			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成31年2月15日	5台	平成31年2月15日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・眠りSCANをマットレスの下に敷き、無線LANを活用し、睡眠・覚醒・起き上がり・離床をリアルタイムでモニタリングし、安全な見守りを図る。併せて睡眠状態のデータを適切に把握し個別ケアにつなげていく。</li> <li>・平成31年2月15日に5台を一括導入</li> </ul>			
<p>【利用者のプライバシーへの配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニター機器類の設置はケアワーカー室内とする。</li> <li>・睡眠状態のデータは、職員が守秘義務に基づき適切に管理を行う。</li> </ul>			
<p>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</p> <p>安心な見守り・タイムリーな介護の達成を目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目が行き届く安心な見守りを行う。</li> <li>・入居者の生活や行動に合わせた介護を行う。</li> <li>・スタッフの労務環境の改善につなげ、職場定着率の向上を図る。</li> </ul>			
<p>【見守り機器導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの睡眠・覚醒状態を把握し個別ケアにつなげることが期待できる。</li> <li>・測定データをご家族への報告を行うことで連携をとることができる。</li> <li>・生活状況の見える化によるサービスの改善や体調変化の早期発見・対応が期待できる。</li> </ul>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 ( 有限会社吉原介護センター )  
 事業所名 ( グループホーム陽気 )  
 サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

見守り機器の製品名			
テクノスジャパン 家族コール2 Aタイプ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 1 月 31 日	1	平成 31 年 1 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>認知症対応型共同生活介護内にて、1月31日より夜間徘徊、転倒の危険のある利用者さんに対し、導入し経過観察を行う。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>身体拘束にならないように利用者の行動を制限するものではなく、生活パターンの把握のためにおこなう。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b></p> <p>利用者さんの転倒事故をなくし、安心安全に生活していただく。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>転倒の事案数を減らすことができる。</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 ( 社会福祉法人 富岳会 )

事業所名 ( 富岳ダイヤモンドライフすその )

サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器の製品名			
キング通信工業株式会社 シルエット見守りセンサ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
H31年 2月28日	4 台	H31年 2月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>〈事業概要〉ユニットケアにおいて、利用者一人ひとりの個性と生活リズムを大切にしたい、介護サービスを行う。</p> <p>〈導入スケジュール〉</p> <p>平成31年2月 見守りセンサ設置の設置、導入開始</p> <p>平成31年2月 使用説明、研修の実施</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <p>1、プライバシー保護を目的としたシルエット画像を採用することで、個人情報の保護を実現します。(入居者の動きや居室の状況は把握できますが、顔等個人を特定できるような情報や、居室内の詳細な情報を記録・表示することはありません)。</p> <p>2、非接触型の見守り機器であるため、身体的・精神的な拘束を一切必要としません。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】 (導入後3年間)</b></p> <p>1、夜間における起き出し・排せつのタイミングを把握し、都度24Hシートの調整を行う。</p> <p>2、転倒、徘徊といった事故発生リスクの低減(20%程度)</p> <p>3、介護職員の負担を減らし、就労環境を整えることで業務負担による離職を減らす。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <p>1、入居者の動きを早期に把握し、入居者の転倒、転落を予防する。</p> <p>2、安心・安全な介護現場の実現によるストレスの軽減</p> <p>3、シルエット見守りセンサによる見守り対象者以外の入居者の見守りの強化ができる</p> <p>4、効率的な業務の実現と被介護者とのコミュニケーション時間の増加</p>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人粹友会 )

事業所名 (介護老人福祉施設みくらの里)

サービス種別 (介護老人福祉施設 )

見守り機器の製品名			
見守り支援システム 眠りSCAN NN-1310P			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 1 月 31 日	3 台	平成 31 年 1 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】			
(事業概要)			
<p>現在、新規のご利用者様が施設での生活を始める際、入居前のアセスメント情報により暫定ケアプランを作成し、入居後の生活状況を確認しながら、再度、アセスメントを実施してケアプランの見直しを実施している。その中、本機を使用することにより、行動パターン（就寝や起床）を把握することが可能となり、よりその方にあったケアプランを作成し、支援することが可能となると考えられる。</p> <p>今回、導入予定の離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援出来る。また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助にもなると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる。</p>			
(導入スケジュール)			
平成 31 年 1 月	対象機器の導入		
平成 31 年 2 月	施設内で効果検証、および年次報告書の作成		
平成 31 年 3 月	年次報告書提出（1 年目）		
平成 32 年 2 月	施設内で効果検証、および年次報告書の作成		
平成 32 年 3 月	年次報告書提出（2 年目）		
平成 33 年 2 月	施設内で効果検証、および年次報告書の作成		
平成 33 年 3 月	年次報告書提出（3 年目）		
【利用者のプライバシーへの配慮】			
<p>本機はベッドのマットレスの下に敷いて使用するため、ご利用者様に違和感を与えることなく生活リズムを把握出来るため、睡眠や覚醒状態などを確認しながらプライバシーに配慮したたケアの提供が可能となる。</p>			

【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）

本機を導入することにより、①新規入居者の行動パターンや睡眠パターンを把握してご利用者様の生活や行動に合わせた支援の提供、②看取り介護時の状態把握と介護職員の負担軽減を目的とします。

（検証方法および目標）

- ① 新規入居者様へ本機を使用し、状態の把握及び予防策の検討を行う。また、その後、職員に対し10段階評価表（添付資料B）を使用して、過去、本機を使用しなかった場合と本機を使用した場合の状況を比較し効果について可視化します。

目標：本機使用により、評価数値を1～5低減することを目標とします。

- ② 看取り介護時に本機を使用し、ご利用者様の様態把握を行う。その後、その後、職員に対し10段階評価表（添付資料C）を使用して、過去、本機を使用しなかった場合と本機を使用した場合の状況を比較し効果について可視化します。

目標：本機使用により、評価数値を1～5低減することを目標とします。

【見守り機器導入により期待される効果等】

新規入居者の行動パターン（就寝と起床）や睡眠パターンを把握することで、目が覚めているときに支援することや支援の優先順位をつけることが可能となり、ご利用者様の安心・安全・満足度の向上が図れることが期待されます。

看取り介護時の状態把握と介護職員の負担軽減：看取り介護時は、ご利用者様の様態の急変などへの対応が必要となり、職員の精神的負担が大きくなるが、本機を使用することにより効率的な介護の提供や職員の負担感の軽減が期待されます。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人梓友会)

事業所名 (介護老人福祉施設みくらの里)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

## 見守り機器の製品名

バラマウント  
離床センサー付きベッド  
KA-N1710F

導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成 31 年 1 月 31 日	2 台	平成 31 年 1 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで

## 【事業概要及び導入スケジュール】

## (事業概要)

現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐ様、対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。

今回、導入予定の離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援出来、また、介護職員の見守りにおいても、適切なタイミングで訪室を判断する一助にもなると考えられるため、ひいては介護職員の負担感の軽減や安心感の醸成にも寄与できると考えられる。

## (導入スケジュール)

平成 31 年 1 月 対象機器の導入  
平成 31 年 2 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成  
平成 31 年 3 月 年次報告書提出（1 年目）  
平成 32 年 2 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成  
平成 32 年 3 月 年次報告書提出（2 年目）  
平成 33 年 2 月 施設内で効果検証、および年次報告書の作成  
平成 33 年 3 月 年次報告書提出（3 年目）

## 【利用者のプライバシーへの配慮】

本機はベッドに内蔵した荷重センサーが荷重の変化を検知することで、従来のセンサーマット等と比較しても正確な検知判定が可能である。よって、ご利用者様に違和感を与えることなく、様々な動作を検知することが出来るため、よりプライバシーに配慮したケアを提供することが可能となる。



【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）

見守り機器を導入することにより、①介護職員の負担感の軽減、②介護事故の軽減を目的とします。

（検証方法および目標）

- ① 検証方法：10段階評価表（添付資料A）を使用して本機を利用した場合の介護業務と本機を使用しなかった場合の職員の介護業務（見守り）の負担感アンケートを比較します。本アンケートを定期的実施することにより、見守り負担感の軽減効果について可視化します。

目標：本機使用により負担感を2割軽減することを目標とします。

- ② 検証方法：介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を6か月毎に集計し、本機を使用したグループと本機を使用しなかったグループで比較し、本機を導入したことにより介護事故・ヒヤリハットの変化を測定します。

【見守り機器導入により期待される効果等】

ご利用者様の安全確保：本機の使用により、ご利用者様より正確に起き上がりや離床などの動作を検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまずきなどの危険を排除出来、その結果、事故等の予防が期待されます。

介護職員の処遇改善：ベッドからの離床が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があるため、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知出来るため、職員はご利用者様の動作を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが期待されます。

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所を下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 （ 社会福祉法人遠淡海会 ）

事業所名 （特別養護老人ホーム神久呂の園）

サービス種別 （ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
離床センサー ベッドコール・ケーブルタイプ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
平成31年1月15日	8台	平成31年1月15日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b>            離床センサー（ベッドセンサー：入所者の上半身が起き上がるとナースコールに連動し職員へ知らせる機器）を8台導入する。平成31年1月15日に購入し、利用者に使用する。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b>            ベッドマットレスの上にセンサーパットを敷き、その上にシーツを掛けることで、利用者にセンサーを使用していることを分からないようにする。起き上がったときに鳴るコールはナースコールに連動し、職員が持つ受信機で分かるようにし、他の利用者にも分からないように配慮する。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b>            夜間帯での利用者の転倒等の事故を減らす。</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b>            認知症、理解力が低下した利用者の危険行動を察知し、転倒のリスクを下げる効果を期待する。</p>			

注）変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人春風会 )  
 事業所名 (あしたかホーム )  
 サービス種別 (特別養護老人ホーム )

見守り機器の製品名			
見守り支援システム「眠りSCAN」			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31年 2月 28日	2台	31年 2月 28日	年 月 日から 年 月 日まで
<b>【事業概要及び導入スケジュール】</b> <p>見守り支援システム「眠りSCAN」をマットレスの下に設置し、利用者の状態（寝返り、呼吸、心拍、覚醒、起き上がり、離床）を測定し、睡眠状態が把握できます。測定データは、既存のPC・携帯端末でリアルタイムに確認できることから、利用者の危険につながる予兆動作を早期に検知できます。また、データの見える化により、ケアプランの改善や業務負担軽減が可能となります。導入は、1月末に発注し2月28日納品、設置し、その後に運用を予定しています。</p>			
<b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者及びご家族に説明をおこない、同意を得てから実施します。</li> <li>2. 利用者の画像データではなく、イラストと測定データで見える化します。</li> <li>3. 検知履歴情報は、セキュリティ対策済みのPCにて一元管理されます。</li> </ol>			
<b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b> <p>見守り支援システムの導入により、転落・転倒の低減を含めた利用者の見守り支援と個々に合わせたサービス提供、介護負担の軽減を目的とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 転倒回数・転倒者数の低減目標－15%</li> <li>② 訪室回数を減らすことによる見守り時間の軽減－15%と空いた時間の有効活用</li> </ol>			
<b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臥床時の状況が見える化されることで、行動の変化が予測でき、職員の精神的負担の軽減と安心・安全な介護現場の実現が可能となります。</li> <li>2. 訪室タイミングの最適化（夜間時の安眠の妨げの軽減・急変時の状態変化時）</li> <li>3. 事故発生の原因分析や日常生活動作の把握により、個々に合わせてサービス提供ができます。</li> </ol>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。

## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人春風会 )  
 事業所名 (ニューあしたかホーム )  
 サービス種別 (特別養護老人ホーム )

見守り機器の製品名			
見守り支援システム「眠りSCAN」			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31年 2月 28日	3台	31年 2月 28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>見守り支援システム「眠りSCAN」をマットレスの下に設置し、利用者の状態（寝返り、呼吸、心拍、覚醒、起き上がり、離床）を測定し、睡眠状態が把握できます。測定データは、既存のPC・携帯端末でリアルタイムに確認できることから、利用者の危険につながる予兆動作を早期に検知できます。また、データの見える化により、ケアプランの改善や業務負担軽減が可能となります。導入は、1月末に発注し2月28日納品、設置し、その後に運用を予定しています。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者及びご家族に説明をおこない、同意を得てから実施します。</li> <li>2. 利用者の画像データではなく、イラストと測定データで見える化します。</li> <li>3. 検知履歴情報は、セキュリティ対策済みのPCにて一元管理されます。</li> </ol>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b></p> <p>見守り支援システムの導入により、転落・転倒の低減を含めた利用者の見守り支援と個々に合わせたサービス提供、介護負担の軽減を目的とします。</p> <p>①転倒回数・転倒者数の低減目標－15%</p> <p>②訪室回数を減らすことによる見守り時間の軽減－15%と空いた時間の有効活用</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臥床時の状況が見える化されることで、行動の変化が予測でき、職員の精神的負担の軽減と安心・安全な介護現場の実現が可能となります。</li> <li>2. 訪室タイミングの最適化（夜間時の安眠の妨げの軽減・急変時の状態変化時）</li> <li>3. 事故発生の原因分析や日常生活動作の把握により、個々に合わせてサービス提供ができます。</li> </ol>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。



## 見守り機器導入（変更）計画書

法人名 (社会福祉法人春風会 )  
 事業所名 (プレゲあしたか )  
 サービス種別 (地域密着型特別養護老人ホーム)

見守り機器の製品名			
見守り支援システム「眠りSCAN」			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
31年 2月 28日	3台	31年 2月 28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【事業概要及び導入スケジュール】</b></p> <p>見守り支援システム「眠りSCAN」をマットレスの下に設置し、利用者の状態（寝返り、呼吸、心拍、覚醒、起き上がり、離床）を測定し、睡眠状態が把握できます。測定データは、既存のPC・携帯端末でリアルタイムに確認できることから、利用者の危険につながる予兆動作を早期に検知できます。また、データの見える化により、ケアプランの改善や業務負担軽減が可能となります。導入は、1月末に発注し2月28日納品、設置し、その後に運用を予定しています。</p>			
<p><b>【利用者のプライバシーへの配慮】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者及びご家族に説明をおこない、同意を得てから実施します。</li> <li>2. 利用者の画像データではなく、イラストと測定データで見える化します。</li> <li>3. 検知履歴情報は、セキュリティ対策済みのPCにて一元管理されます。</li> </ol>			
<p><b>【見守り機器導入により達成すべき目標】（導入後3年間）</b></p> <p>見守り支援システムの導入により、転落・転倒の低減を含めた利用者の見守り支援と個々に合わせたサービス提供、介護負担の軽減を目的とします。</p> <p>①転倒回数・転倒者数の低減目標－20%</p> <p>②訪室回数を減らすことによる見守り時間の軽減－15%と空いた時間の有効活用</p>			
<p><b>【見守り機器導入により期待される効果等】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臥床時の状況が見える化されることで、行動の変化が予測でき、職員の精神的負担の軽減と安心・安全な介護現場の実現が可能となります。</li> <li>2. 訪室タイミングの最適化（夜間時の安眠の妨げの軽減・急変時の状態変化時）</li> <li>3. 事故発生の原因分析や日常生活動作の把握により、個々に合わせてサービス提供ができます。</li> </ol>			

注) 変更計画書の場合は、変更した箇所に下線を引くこと。